

御嶽山噴火に係る関係省庁災害警戒会議

議 事 次 第

日時：平成26年9月27日（土）16：40～
場所：合同庁舎8号館3階 災害対策本部会議室

1. 山谷内閣府特命担当大臣（防災）挨拶
2. 今後の活動の見通しについて
3. 各省庁の対応状況について
4. その他

平成 26 年 9 月 27 日 14:30

御嶽山の火山活動に関する総理指示

1. 早急に被災状況の把握を行うこと
2. 被災者の救助に総力を挙げるとともに、避難誘導等
登山者や住民の安全の確保に万全を期すこと
3. 火山の観測を強化し、登山者及び住民に対する迅速
的確な情報提供を行うこと

報道発表資料
平成26年9月27日
気象庁

9月27日に発生した御嶽山の噴火について
ー御嶽山の噴火警戒レベルを3（入山規制）に引き上げー

御嶽山（長野県・岐阜県境）では、本日（27日）11時53分に噴火が発生しました。山頂付近の状況は視界不良のため不明ですが、中部地方整備局が設置している滝越カメラにより南側斜面を噴煙が流れ下り、3キロメートルを超えたことを観測しました。

気象庁では、本日（27日）12時36分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から3（入山規制）に引き上げました。また、同13時35分に降灰予報を発表しています。

噴火が発生したのは2007年（平成19年）3月下旬のごく小規模な噴火以来です。御嶽山で噴火警戒レベルを3に引き上げたのは、平成20年3月31日の御嶽山の噴火警戒レベルの運用開始以来初めてです。

山頂火口から4キロメートル程度の範囲では、噴火に伴う大きな噴石の飛散等に警戒してください。

本件担当 地震火山部火山課 03-3284-1749（直通）

12時36分に発表した火口周辺噴火警報

火山名 御嶽山 噴火警報（火口周辺）

平成26年9月27日12時36分 気象庁地震火山部

（見出し）

<御嶽山に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を発表>

火口から4キロメートル程度の範囲に影響を及ぼす噴火が発生すると予想。

<噴火警戒レベルを1（平常）から3（入山規制）に引上げ>

（本文）

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

本日（27日）11時53分頃、御嶽山で噴火が発生しました。

山頂火口の状況は視界不良のため不明ですが、中部地方整備局が設置している滝越カメラにより南側斜面を噴煙が流れ下り、3キロメートルを超えるのを観測しました。

今後も居住地域の近くまで影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口から4キロメートル程度の範囲では、噴火に伴う大きな噴石の飛散等に警戒してください。

2. 対象市町村等

以下の市町村では、火口周辺で入山規制などの警戒をしてください。

長野県：王滝村、木曾町

岐阜県：高山市、下呂市

3. 防災上の警戒事項等

火口から4キロメートル程度の範囲では大きな噴石の飛散等に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。

<噴火警戒レベルを1（平常）から3（入山規制）に引上げ>

噴火に関する火山観測報

火 山：御嶽山

日 時：2014年09月27日11時53分(270253UTC)

現 象：噴火

有色噴煙：不明

白色噴煙：

流 向：不明



図2 御嶽山 噴火の状況 (2014年11時56分)

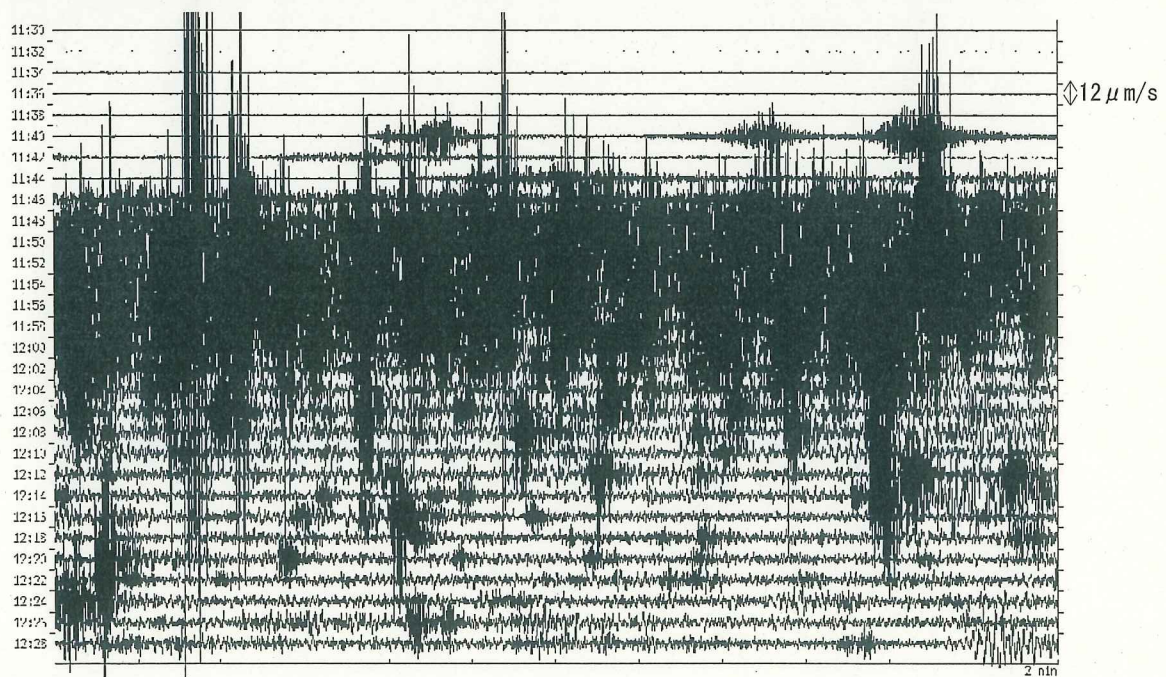


図3 御嶽山 地震及び微動の発生状況 (2014年11時30分~12時30分)

火山性微動が11時41分に発生し、継続しています。

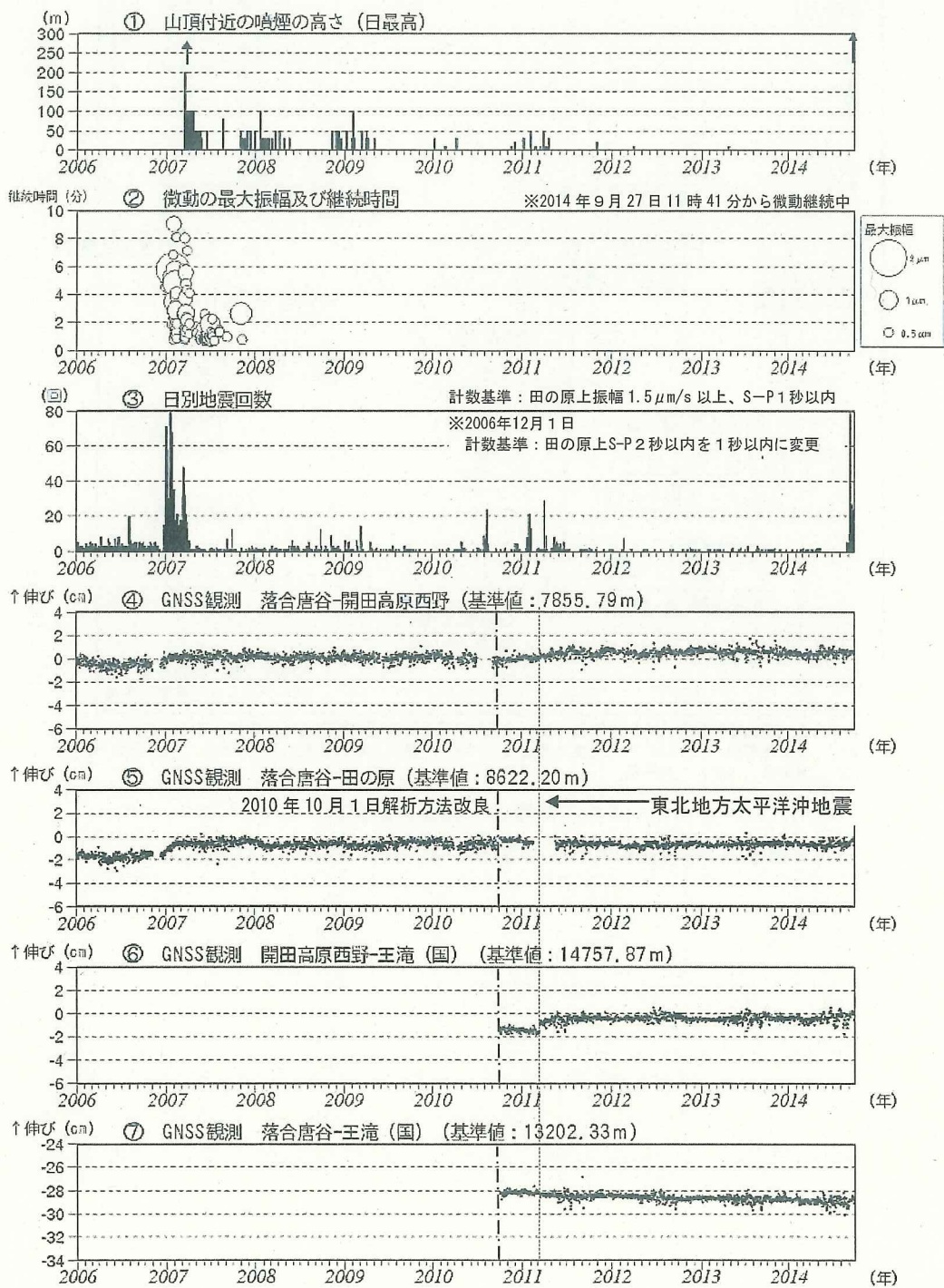


図5 御嶽山 火山活動経過図 (2006年1月1日～2014年9月27日)

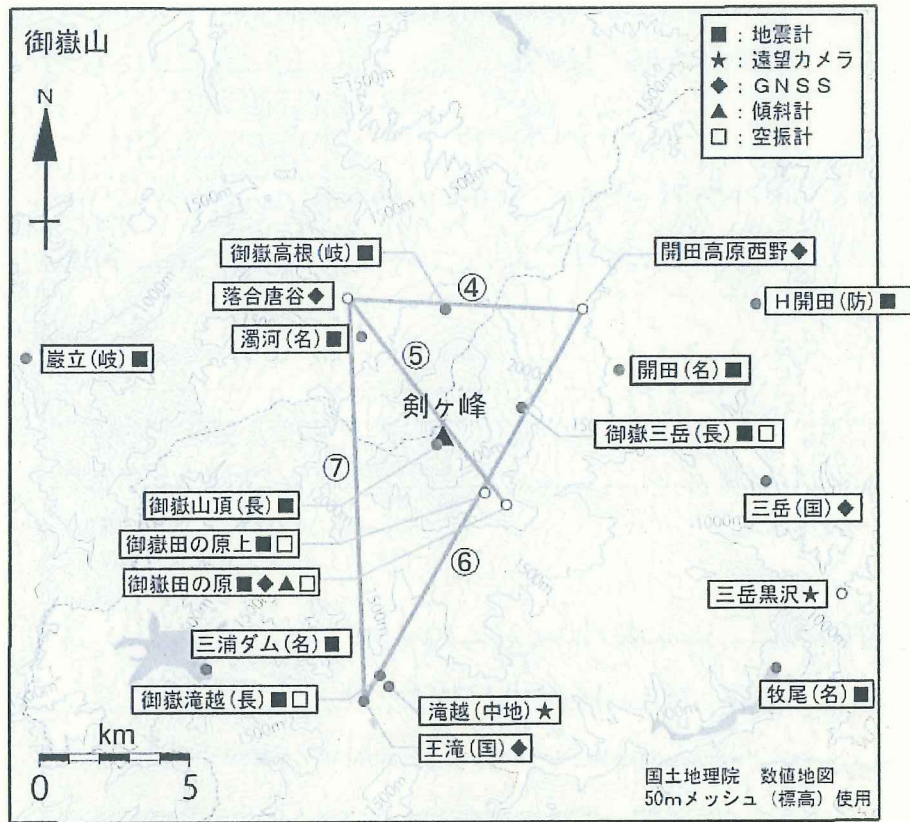
① 定時観測 (09時・15時) による噴煙の高さ (日最高)

矢印は噴火を示します。

④～⑦ GNSS連続観測による基線長変化 (国) : 国土地理院

⑥には東北地方太平洋沖地震 (2011年3月11日) に伴うステップ状の変化がみられます。2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。

図中④～⑦は図6のGNSS基線④～⑦に対応します。グラフの空白部分は欠測を示します。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国) : 国土地理院、(中地) : 中部地方整備局、(防) : 防災科学技術研究所、(名) : 名古屋大学、
 (長) : 長野県、(岐) : 岐阜県

図6 御嶽山 観測点配置図

図中のGNSS基線④~⑦は図5の④~⑦に対応しています。

かざんけつしきょう

(STX)

43 03 00 140927160825 C11 1409271608 N0004 F/ S6620 M312 L33// 9999

火山名 御嶽山 火山の状況に関する解説情報 第4号
平成26年9月27日16時08分 気象庁地震火山部

(本文)

<火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続>

1. 火山活動の状況

御嶽山では、本日（26日）11時53分頃に噴火が発生しました。山頂火口の状況は視界不良のため噴煙の高度は不明ですが、中部地方整備局が設置している滝越カメラでは南側斜面を噴煙が流れ下り、3キロメートルを超えるのを観測しています。11時41分頃から連続した火山性微動が発生し、現在も噴火が継続していると推測されます。

15時までの火山性地震及び火山性微動の回数（速報値）は以下のとおりです。

	火山性地震
9月26日11時	79回
9月26日12時	159回
9月26日13時	31回
9月26日14時	23回

噴火発生後も火山性地震の多い状態が続いています。

2. 防災上の警戒事項等

御嶽山では、火口から4km程度の範囲では大きな噴石の飛散等に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。

今後、火山活動の状況に変化があった場合には、随時お知らせします。

<火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続>

=
(ETX)

御嶽山の火山活動に係る被害状況等（第1報）

3

平成26年9月27日（土）16時10分
消 防 庁 災 害 対 策 室

1 火山の状況

- ・ 9月27日11時53分頃、御嶽山で噴火が発生した。
- ・ 山頂火口の状況は視界不良のため不明だが、中部地方整備局が設置している滝越カメラにより南側斜面を噴煙が流れ下り、3kmを超えるのを観測した。
- ・ 今後も居住地域の近くまで影響を及ぼす噴火が発生すると予想される。
- ・ 山頂火口から4km程度の範囲では、噴火に伴う大きな噴石の飛散等に警戒。
- ・ 9月27日12時36分、噴火警戒レベルを1（平常）から3（入山規制）に引上げ。

2 被害の状況

（1）人的被害

- ・ 重症 1人
- ・ 中等症 7人

※上記の要救助者は長野県木曾広域消防本部への119番通報の情報

（2）住家被害

確認中

3 要救助者の情報

（1）長野県 確認中

（2）岐阜県 岐阜県側の山小屋に滞在していた52人については全員自力で下山中。けが人の情報は無い。

3 避難状況

避難指示・勧告は発令されていない

4 地方公共団体における災害対策本部等の設置状況

長野県 9月27日 13時20分 警戒対策本部設置
→ 27日 14時10分 災害対策本部へ移行
岐阜県 9月27日 13時15分 火山災警戒本部設置

5 消防庁の対応

9月27日 14時30分 応急対策室長を長とする災害対策室を設置

問い合わせ先
消防庁災害対策室
五十嵐・原
TEL 03-5253-7527
FAX 03-5253-7537

御嶽山の噴火状況等について

※ これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

※ 下線部は、前回からの変更箇所。

平成26年9月27日
16時00分現在
内閣府

1. 火山活動の状況(気象庁情報:9月27日14:30現在)

(1)これまでの状況

御嶽山(長野県・岐阜県境)では、本日(27日)11時53分に噴火が発生しました。

山頂付近の状況は視界不良のため不明ですが、中部地方整備局が設置している滝越カメラにより南側斜面を噴煙が流れ下り、3キロメートルを超えるのを観測しました。このように火山活動が高まっていることから、本日(27日)12時36分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1(平常)から3(入山規制)に引き上げました。また、同13時35分に降灰予報を発表しています。

噴火が発生したのは2007年(平成19年)3月下旬にごく小規模な噴火以来です。御嶽山で噴火警戒レベルを3に引き上げたのは、平成20年3月31日の御嶽山の噴火警戒レベルの運用開始以来初めてです。

(2)今後の見通し

今後も居住地域の近くまで影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口から4キロメートル程度の範囲では、噴火に伴う大きな噴石の飛散等に警戒が必要

火口から4キロメートル程度の範囲では大きな噴石の飛散等に警戒が必要。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石(火山れき)が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要。

爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意が必要。

2. 人的・住家被害の状況(警察庁調べ:9月27日 16:00現在)

(1)人的被害

【長野県側】

○骨折 2名(頂上山荘:男性、9合目:女性)

○埋もれた者 4名(うち1人が意識なし)

【岐阜県側】

○骨折 2名(二の池小屋付近:男性1、女性1)

(2)住家被害

確認中

3. 避難の状況

(1)避難状況(警察庁調べ:9月27日 16:00現在)

・15:15頃、頂上山荘約100人の登山客は下山開始との情報。

・御嶽神社の山小屋の46人について、下山中との情報。

・五の池小屋に退避していた登山客52人が下山中。

4. 政府の主な対応

(1)官邸の対応

- ・情報連絡室を設置(9月27日 13:23)
- ・官邸連絡室へ改組(9月27日 14:30)

(2) 総理指示

- ・御嶽山の火山活動に関し、安倍内閣総理大臣から以下の指示が発せられた。(9月27日 14:30)

1. 早急に被災状況の把握を行うこと
2. 被災者の救助に総力を挙げるとともに、避難誘導等登山者や住民の安全の確保に万全を期すこと
3. 火山の観測を強化し、登山者及び住民に対する迅速的確な情報提供を行うこと

(3) 関係省庁担当者会議の開催

- ・御嶽山噴火に係る関係省庁担当者会議を開催(9月27日 15:00)

(4) 各府省庁の対応

① 内閣府の対応

- ・情報対策室を設置(9月27日 12:36)

② 警察庁の対応

- ・災害情報連絡室設置(9月27日 13:23)
- ・長野県警がヘリにより情報収集

③ 気象庁の対応

- ・火口周辺警報を発表。噴火警戒レベルを1(平常)から3(入山規制)に引き上げ。(9月27日 12:36)